

旭 農

PTA ニュース

編集
発行

北海道旭川農業高等学校PTA事務局

2024年12月23日
(令和6年度)
No.148

クラブ後援会長より

クラブ後援会長

小林 英範



保護者の皆様方におかれましては、日頃より旭農PTA・クラブ

の多大なるご理解とご協力を頂き心より感謝申し上げます。

また、近江校長先生をはじめ教職員の皆様におかれましては、日々のご尽力のおかげでコロナでの制限から開けた通常日程に戸惑うことなく、生徒たちへの関りを今まで以上に増やして頂き、保護者を代表いたしまして心より感謝を申し上げます。

学校行事におかれましては高体連や農業クラブ活動、学校祭など計画された様々な行事も順調に遂行され、つい先日には二年生の見学旅行も無事に終えられまして併せて感謝

を申し上げます。

秋から冬へ向かう季節ですが、来春卒業を迎える三年生は進学や就職活動に戸惑う日々かとは思いますが、思い描く理想を現実へと変え、努力は今まで以上に必要になります。苦しい時でも学生生活で育んだ友人や応援してくれる両親、時には先生にも相談し、互いに協力して様々な理不尽へと立ち向かって一歩一歩新しい未来へ進んでください。

また、独り立ちするには時間がある二年生や一年生は、今しかない青春を一杯楽しんで今後のために沢山の友人を作ってください。きつと力になつてくれると思います。

今回の誌面掲載にあたり自分から皆様へ何か伝える事があるか大変悩みましたが、率直な今の感想をお伝えしたいと思います。

私自身も平成二年の農業科卒であり、一男二女の子供がいまして長女も食品科卒です。

娘も入学当初は、特に将来の目標もなく入学したのですが、今では管理栄養士になるべく大学で学んでおり、旭農で学んだ事がきっかけで将来の目標を見つけることができました。

した。

私の仕事は水産市場へ勤務しており農業関連ではありませんが、実家が農業を営んでおり、農繁期には手

つぎの百年を
見据えて

校長 近江 勉



保護者の皆さまには、日頃より本校教育推進に特段のご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。深く感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルスのパンデミックは、食糧供給と農業の重要性を再認識させられる契機となりました。感染拡大による経済活動の停滞や物流の混乱は、食糧供給の不安定さを露呈し、グローバルな食料調達のリスクを示しました。日本では、

伝うこともあり高校時代に学んだ事や職場での経験が役立つ事が数多くあります。皆さんも必ずこの学校で学んだ事が役に立つ日がくると思いますが、三年間という短い高校生活ですが、様々な事に興味を持ち、将来の目標を見つけて欲しいと思います。

さて、まもなく師走を迎え今年も残すところあとわずかとなりますが、皆様におかれましてはお体に充分気を付けて良いお年を迎えて頂くことを願ひ、今後とも旭農PTA・クラブ後援会へご理解とご協力を賜ります様、何卒よろしくお願い申し上げます。

食料の多くを輸入に頼っています。コロナ禍で輸入の制約や遅延が生じ、国内供給の弱さが浮き彫りになったことから、食糧自給率の向上や国内農業の活性化が、より重要な課題として認識されるようになりました。

農業は、国の根幹であり食糧供給の安定を確保するために、持続可能な農業と食料自給の強化が求められます。従って、感染症の影響を踏まえ、農業と食糧供給の重要性を再認識し、国内の食料生産能力を向上させるための取組を進めることが必要です。これにより、将来の食料安全保障を確立し、パンデミックなどの予期せぬ事態に対する備えを強化することが必要となったこと、農業人口の急減などを踏まえ、農政の憲法と言われる「食料・農業・農村基本法」が二十五年ぶりに改正となりました。この改正は、法律の基本理念

に「食料安全保障の確保」を新たに加え、農産物や資材の安定的な輸入を図るほか、農業法人経営基盤の強化やスマート技術を活用した、生産性の向上などに取り組むことが盛り込まれています。また、食料の安定供給を政府に求める付帯決議も可決されました。日本の食糧自給率が四割を切っている今、国の未来を考えると農業は他の産業を支える基盤であり、生命を維持するために不可欠な存在であることを改めて感じます。

本校は、農業や食産業、自然環境や環境及び観光などの未来を担う人材の育成の為に資質能力の向上に重点を置いています。そして、農業教育を通じて生徒の興味を引き出し、実社会で活躍できるスキルを育成しています。このことが、農業を経済基盤産業として発展させ、地域社会や文化・経済を支える拠点となっています。そして、本校の農業に関する研究は農業・食品産業界から高く評価されており、本校への関心と期待が高まっています。

結びに、今後とも生徒が「旭川農業高校に入学して良かった」と思えるよう教育環境を整えていきます。さらに、農業教育の振興を通じて、生徒の夢の実現をより一層すすめていければと考えています。つぎの百年を見据え、新たな事にチャレンジする生徒、これからの社会を考える生徒、部活動・農業クラブ活動で感動を生み出す生徒、あらゆる領域で生徒の可能性を支えていきます。今後とも変わらぬご支援をいただきます。すようお願いいたします。

令和六年度 生徒会役員及び 農業クラブ役員

■新生徒会役員

会長	大黒谷皓斗 (2A)
副会長	ウィルコック ニーナ (2M)
副会長	星野 桃菜 (2M)
書記	大野 莉風 (2M)
書記	箭内 結来 (1M)
会計	木下 栞 (2L)
会計	渋谷 瑚白 (1L)
監査	加藤 礼音 (2M)
監査	佐藤 葵 (1F)
監査	高橋 桐生 (1F)
保健安全委員長	九軒 怜央 (1F)
風紀委員長	土門 千夏 (1L)

■新農業クラブ役員

会長	齊藤あかり (2M)
副会長	関澤 唯斗 (2A)
副会長	吉田歩乃果 (2L)
書記	上西 愛実 (2M)
書記	村椿ここみ (1M)
会計	香西 結月 (1M)
会計	大沼 尚央 (1L)
監査	松田 光稀 (1A)
監査	佐藤 慈恋 (1F)
監査	中島 歩夢 (1F)



▲生徒会執行部



▲農業クラブ執行部

こうして、私たち三年生の専攻班活動に終止符が打たれました。来年は、後輩達が全国大会に出場し、優勝トロフィーを持って帰ることを願っています。

日本学校農業クラブ全国大会出場者

○プロジェクト発表会

分野Ⅱ類 出場

柏原 充 (3A)
塚本 将也 (3A)
平田 尚哉 (3A)
分野Ⅲ類 優秀賞受賞
伊藤 皐夢 (3A)
渋谷くらら (3A)
野村 琉光 (3A)
渡邊 真彩 (3A)



▲集合写真 (岩手大会)



▲意見発表会写真 (岩手大会)

○意見発表会
分野Ⅱ類 出場

前中那津美 (3M)

○平板測量競技会 出場

竹内 遥紀 (2F)
土谷 紀裕 (2F)
中山 琉仁 (2F)
鉢呂 育久 (2F)

○農業鑑定競技会

分野野菜 優秀賞受賞
江口 敏紀 (2A)
分野食品 出場
畑中 悠寿 (3M)

分野森林 優秀賞受賞

相馬 蒼生 (2F)
分野生活 出場
星野 綾菜 (3L)

分野生活 出場

宮田 栞菜 (1L)
○家畜審査競技会 (乳用牛の部) 優秀賞受賞

八木橋琴音 (2A)
○式典旗手・秋季代議員会参加
川村玲衣奈 (3M)

令和六年度 旭川農業高校 PTA役員研修会

令和六年十一月十四日(木)、第二回PTA・クラブ後援会役員会終了後に本校を会場に令和六年度旭川農業高校PTA研修会が次の通り実施されました。

- ・農業科学科…プログラミング体験
- ・食品科学科…食品加工体験 (アイスクリーム製造)

私たちは十一月五日から十一月九日の間、四泊五日の修学旅行に行ってきました。天保山マーケットプレイス、吉本新喜劇、清水寺、ディズニースーなどいろいろな場所に行きましたが、その中でも特に印象に残っているのが三日目の関西自主研修で見た金閣寺です。私は歴史に興味があったので、見学旅行に行くま

・森林科学科…木工体験 (100均DIY 木製ボックス)
・生活科学科…菓子製造体験 (ガトーショコラ)
PTA研修会は保護者の皆様方が体験する学科を選び参加いただきました。普段、専門授業で学び身につけた技術を、生徒たちが講師となり参加者に伝えるという形式で研修を行いました。次年度も是非多くの方々にご参加頂き、生徒たちの学びの深さや各学科の特徴等にふれていただければと思います。



修学旅行を 終えて

食品科学科二年 松井 夢



では歴史的建物である金閣寺にも興味がありませんでした。しかし、実際に行ってみると、本当に建物の外壁が金箔で覆われていて感激しまし

た。天候が良かったため、池の水面に反射する金閣寺が輝いて美しかったです。班員全員感動して写真をいっぱい撮ってしまいました。今回の修学旅行を通じて、目的である日本の歴史や文化に触れ、知識や経験を深めることができたのではないかと思います。また、団体旅行という集団生活を通して社会性を身につけることができました。今回の経験を今後の学校生活、人生に活かしていきたいと思っています。

文化部活動報告

演劇部部长

農業科学科三年 柳谷 空



今年度も演劇部はいくつかの舞台を作り上げてきました。初めに新入生勧誘

公演です。二、三年生で力を合わせて頑張ったところ、五名が入部してくれました。マジで感謝。次は劇団水点華での公演でした。他校の演劇部員と協力した結果、最高の劇を作ることができました。あと、めっちゃ泣きました。そして三年生の活動としては最後である高文連がありました。いろいろな問題を乗り越えた結果、全道は逃したものの優秀賞をいただき、この上ない達成感を得る

書道部部长

生活科学科三年 土門 美里

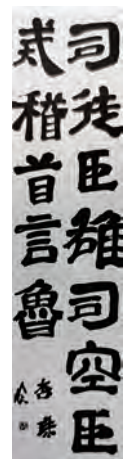


今年度の上川地区大会の高文連は富良野高校を当番校として開催されました。他校の書道部員の作品を鑑賞したり、お互いの作品制作の思いにつ

▲上川支部 特選作品（3M 曾田）



▲上川支部 特選作品（2M 遠藤）



いて話したりするなど充実した大会にすることができました。昨年度は悔いが残ってしまう部員も多くいた大会でしたが、今年度はその悔しさをバネに一人一人が個人の作品と向き合い作品作りを頑張りました。結果、四名が入賞することができ、小樽の全道大会に参加することができました。

今回の大会で学んだことを活かし、これから後輩の皆さんは来年の大会に向け頑張ってください！

書道の知識について教えてくれた湊先生、部活をしやすいようにしてくれていた高野先生、ありがとうございました。

吹奏楽部部长

食品科学科二年 尾形 祐音



私たち吹奏楽部は今年度、高文連、吹奏楽祭、吹奏楽コンクール旭川地区予選

に出場しました。その中でも

八月に行われた旭川地区予選では、ゴールド金賞という目標に向け、部員一丸となって「旭農サウンド」を追求しました。結果は悔しくも銀賞でしたが、これまでの練習の成果を出し切り、私たちの良い演奏をホールで表現することができました。来年こそは今年の悔しさをバネに日々の練習

に励み、ゴールド金賞受賞、そして全道大会の切符を掴めるよう、部員一丸となって頑張っていきます。そして、これまで先輩方が繋いできた「旭農サウンド」を追求し続けます。

茶道部部长

生活科学科二年 門口美羽花



私たち茶道部は現在、二年生二名、一年生十名の計十二名で活動してい

ます。

昨年度に続き、旭農祭ではお茶会を行うことができ、今年は二年生がお点前を披露しました。沢山のお客様が来て下さり、とても緊張しましたが、日々の練習の成果を発揮できたと思います。一年生も初めてのお茶会で緊張したと思いますが、受付やお運び、水屋の仕事をお互い教え合いながら、思いやりの心を持つことができました。

写真部部长

食品科学科三年 中野 桜



今年度行われた高文連上川支部大会では全体で銅賞、入選二作品、奨励賞二

作品という結果になり三名が全道大会への切符を手に入れる事ができました。釧路市で行われた全道大会では入選と佳作という結果になり、全道各地から集まった作品の中には高校生の柔軟な心で表現した独自性のある写真が沢山あり、今年は特に北海道という地域性から「生き物」



第48回全道高等学校写真展・研究大会
入選 二人の軌跡

を撮影した作品も数多く見受けられました。撮影会では惜しくも暴風雨で思った撮影は出来ませんでした。旭川では見るこのできない景色に魅了されながら過ごした四日間でした。

最後まで応援や撮影協力をして頂いた家族、友人、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。この気持ちを忘れずにこれからも沢山素敵な写真を撮り続けていきたいです。



美術部部長

食品科学科三年 高橋 心結



今年の美術部の活動では、美術専門教師がい

ないなか顧問の相馬先生と部員みんなで協力し知識を補いながら活動してきました。私自身一人で一年間みんなを引っ張っていきけるか不安でした。ですが、部員の皆が支えてくれたおかげで無事高文連含めた様々な行事を終えることができました。

高文連では、三年生三名、二年生三名、一年生四名の計十名が参加し、うち四名が全道大会出場を決めることができました。今年の全道大会は旭川で開催され、本校も当番校の一つとして運営に関わりました。大会では、全道各地から集まった作品の鑑賞や、旭山動物園でのスケッチ研修など、普段の活動では得られない貴重な経験が多く、部員たちの創作

意欲をさらに高めることが出来ました。来年度もみんな仲良く頑張ってください。期待しています。



自然科学部部長

森林科学科三年 山中 颯大



私たち自然科学部は現在、三年生五人、二年生三人、一年生三人で活動して

います。今年の研究テーマを新たに決めるため、今後どのような研究をしていきたいかを部員全員で日々話し合いを重ねてきました。

現在は、オオクワガタの幼虫を飼育しており、マットを自作して育成を進めています。これまで取り組んできたカブトムシの研究では、自作マットにキノコバエの卵が付着し飼育力ゴの中で大量発生してしまうため研究を断念することとなりました。さらに、今年度には新たにアリの飼育に挑戦しましたがうまく飼育できず課題が残りました。

来年はこれまでの活動で得た反省を活かし生き物に丁寧に接するよう心がけながらよりよい研究テーマを見つけて行なって欲しいと思っています。

放送局局長

食品科学科二年 ウィルコック ニーナ



放送局では、平日の昼休みに十分間のお昼の放送を行っています。全校生徒の皆さんからリクエストをいただいた曲や人気のある曲をかけるなど、みなさんに楽しんでもらえるように工夫しています。

放送局はこれ他に、春にはNHK杯、秋には高文連の大会があり、アナウンスの個人部門をはじめ、テレビ番組を作成して発表する制作部門にもエントリーしています。今年のNHK杯では食品科学科の先生を取材して作成したテレビドキュメント部門が入賞。高文連の大会でも地元のお店にスポットをあてたビデオメッセージ部門で入賞し、それぞれ全道大会に出場することができました。今後放送技術を向上させ、より良い放送や番組を作成できるよう頑張りたいと思います。



高文連放送コンテスト北海道大会入賞

図書局副局長

食品科学科二年 大野 莉凰



図書局は、放課後の当番をはじめ、新しく入荷する本を買いに行くブックハ

ンティングや新聞の整理をはじめとする図書室の管理をしています。今年度の高文連図書委員研究会は、旭川商業高校が当番校となり行われました。研究会当日、午前中は参加者全員、『東川スタイル』の筆者である小島敏明様の講話を聴きました。午後は「旭川中央図書館パックスステージツアー」「オリジナル新聞作り」「蔵書印作り」の三つの分科会に分かれて活動しました。私は「蔵書印作り」に参加し、旭川実業高校の先生から石の彫り方やコツを教えていただきました。他校の参加者とも交流ができ、楽しい一日でした。二回目の参加となりましたが、本の魅力を改めて知った貴重な体験となりました。



ボランティア局局長

食品科学科三年 高田 未夢



今年度は、旭川周辺のゴミ拾いなどの校外ボランティアや校内ボランティアなど参加しました。ゴミ拾いのボランティアは他の人たちもたくさん参加しており、旭川の細かいところまでゴミ拾いをする事ができました。また、外部団体との連携にも参加させていただき、ボランティア精神を高める事ができました。コロナウイルスも5類になり、ボランティアの活動がとて参加しやすくなり、校内ボランティアで交通安全運動も行いました。交通安全運動では生徒の交通安全の指導をする事ができたと思います。次年度はもっと校外ボランティアを中心に活動したいと考えています。

